

平成29年度事業報告

I. 理事会・評議員会の開催状況

平成29年度 定時評議員会

日時：平成29年5月18日（木） 14:00～15:00

場所：ホテルマイステイズ 札幌アспен 2階「アカシア」

議題：1) 決議事項

第1号議案 任期満了に伴う評議員の選任（案）

第2号議案 任期満了に伴う理事及び監事の選任（案）

第3号議案 その他

出席者：出席評議員 6名（現在数8名）

居林 次雄、川崎 一彦、近藤 征夫、内野 貢、山田 明、

堀 達也

その他出席者

理事 村松宏一理事長、杉野秀雄専務理事

事務局 2名（稲垣勝一、高松 要）

平成29年度 第1回理事会

日時：平成29年5月18日（木） 15:00～17:00

場所：ホテルマイステイズ 札幌アспен 2階「メイプル」

議題：第1号議案 平成28年度事業報告

第2号議案 平成28年度収支決算報告（案）

第3号議案 平成29年度事業計画（案）

第4号議案 平成29年度収支予算（案）

第5号議案 公益目的支出計画実施報告書（案）

第6号議案 理事長及び専務理事の選定（案）

第7号議案 顧問の委嘱について（案）

出席者：出席理事 9名（現在数9名）

村松 宏一、杉野 秀雄、浅香 正博、越前 雅裕、坂本 和彦、

杉本 拓、土居 博昭、永井 勝己、藤田 恒郎 各理事

出席監事 安田 光春（現在数1名）

その他出席者

顧問 宮司正毅当別町長

駐日スウェーデン大使館マグヌス・ローバック大使の代理として

公使／代理大使 ヴィクトリア・フォシュルンド＝ベラス氏が

代理出席

評議員 居林 次雄、川崎 一彦、内野 貢 各評議員

事務局 2名（稲垣勝一、高松 要）

みなし決議に関する平成29年度定時評議員会

日 時 : 平成29年6月15日

内 容 : 定款第22条に基づき、定時評議員会の目的である下記の議案について、評議員に書面による同意を求めたところ、評議員全員の同意を得たので、議案については、評議員会の決議を得たものと看做した。

評議員現在数 8名 同意数 8名

1、書面による同意を求めた内容

報告事項 平成28年度 事業報告

決議事項 平成28年度 収支決算(案)

1) 平成28年度 貸借対照表(案)の承認の件

2) 平成28年度 正味財産増減計算書(案)承認の件

平成29年度 第2回理事会

日 時 : 平成29年11月24日(金) 10:30~12:00

場 所 : 公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター 特別会議室

議 題 : 第1号議案 平成29年度上期事業報告

第2号議案 平成29年度上期収支決算報告(案)

第3号議案 その他

出席者 : 出席理事 9名(現在数9名)

村松 宏一、杉野 秀雄、浅香 正博、越前 雅裕、坂本 和彦、

杉本 拓、土居 博昭、永井 勝己、藤田 恒郎 各理事

出席監事 安田 光春(現在数1名)

その他出席者

事務局 2名(稲垣勝一、和島美樹)

II. 事業状況

1. 交流事業(継続事業1)

1) セミナー・講演会

(1) 講演会「スウェーデンをもっと知ってもらうために ~次の150年に向けて~」

ヴィクトリア・フォシュルンド=ベラス駐日スウェーデン公使/代理大使をお招きして、「日瑞国交樹立150年」および「その次の150年」をメインピックにご講演いただいた。「革新性」「持続可能性」「平等」「公開性」といったキーワードでのスウェーデン大使館の取り組みや、150周年記念の年に行われる予定のイベントなどについて言及があり、参加者からも熱心な質問が出るなど、充実した内容となった。

講演会終了後には交流パーティも開催し、日本在住のスウェーデン人の方々とスウェーデンに興味のある日本の方々とが交流を深められる機会となった。

日 時 : 平成29年5月18日(木) 18:00~19:00

場 所 : ホテルマイステイズ 札幌アスペン 2階

講師： ヴィクトリア・フォシュルンド＝ベラス駐日スウェーデン公使
(瑞日通訳：エラノア・セザー／SCF職員)

参加者： 54名

参加費： 無料

(2) セミナー、ワークショップ

交流事業「アーティスト・イン・レジデンス2017」で招聘した作家によるワークショップ、セミナーを開催した。(交流事業(6)参照)

(3) 後援事業

他団体からの要請等により、イベントへの協力等を行った。

① 「第10回 北欧に学ぶ創造性教育ワークショップ」協賛

日時： 平成29年5月20日(土) 13:00～17:00

会場： 札幌カフェ 5F (札幌市北区)

主催： Office KAWASAKI

内容： 2013年から続くシリーズの第10回。今回は「多文化共生を考えよう」をテーマに、これからの多文化共生のあり方、ビジョンとそのアクションプランを参加者同士意見交換しながら考えた。

② 平成29年度 第2回北方圏講座「私が思う日本人の国際交流感覚」後援

日時： 平成29年6月29日(木) 17:00～18:00

会場： センチュリーロイヤルホテル 20F (札幌市中央区)

共催： (公社)北海道国際交流・協力総合センター(ハイエック)、
北海道スウェーデン協会

内容： 来年の日瑞国交樹立150周年に向け、両国の一層の相互理解や関係の緊密化を図る機会として「日本人の異文化交流」についての講演会を開催。講師として職員のエラノア・セザーを派遣し、スウェーデンや英国での経験も交え、日本語で講演した。

③ 第69回さっぽろ雪まつり HBCスウェーデン広場 協賛ブース出店

日時： 平成30年2月5日(木)～2月12日(月)

会場： 大通公園 7丁目会場

内容： 日瑞外交関係樹立150年を記念し、今年の7丁目会場は「スウェーデン広場」として「ストックホルム大聖堂」および「ダーラヘスト」の雪像が作られた。SCFは要請に応え、スウェーデンを紹介し、スウェーデン雑貨等を販売するブースを協賛出店した。

④ 第36回 あそ雪の広場 協賛

日時： 平成30年2月10日(土)～11日(日)

会場： 阿蘇公園(石狩郡当別町元町)

主催： あそ雪の広場実行委員会

内容： 当別町内の冬の屋外イベントに対し、協賛した。

2) 催 事・イベント

(1) イースターフェア

スウェーデンの伝統的な「イースター（ポスク）」の飾りつけである、卵に色や模様をつける自由制作コーナーを設置。地域の子どもたちを中心に、日本にない異文化を体験いただいた。（「展示会」の項参照）

日 時 : 平成29年4月9日（日）～4月16日（日）

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

来館者 : 54名

(2) クップ大会

バイキング時代からあるスウェーデン生まれのスポーツ「クップ（Kubb）」を紹介した。当初予定していた「クップ大会（6月4日）」はあいにくの雨により中止になったが、地域の中学校やスポーツ関連施設でルールを説明し、実際に体験していただいた。また、財団所在地である当別町が姉妹都市提携先であるレクサンド市からの訪問団（60名）を受け入れた際、当別・レクサンドの市民がともにクップを楽しむ企画が組まれるなど、広がりが見られた。

「クップ ルール指導と体験会」

日 時 : 平成29年6月22日（木）、6月23日（金）9:30～13:00

場 所 : 西当別中学校

参加者 : 153名（全学年全クラス参加）

「クップ 模擬大会」

日 時 : 平成29年7月22日（土）9:00～10:40

場 所 : 白樺テニスコート（石狩郡当別町）

参加者 : 28名

(3) 第34回夏至祭

当別・レクサンド都市交流協会、当別町と共催し、スウェーデン伝統の「夏至祭」を今年も実施した。

スウェーデン交流センターでは、センターホールでの展示会「スウェーデン児童文学パネル展」のほか、「吹きガラス制作体験」「木工作品制作教室」、ガラス作品アウトレット販売の「ガラスマーケット」などの協賛企画を実施し、好評をいただいた。（各項参照）

日 時 : 平成29年6月18日（日）10:00～15:00

場 所 : スウェーデン公園、スウェーデン交流センター

来場者 : 5,000名（主催者発表）

(4) スウェーデン食文化紹介

日本では手に入りにくいスウェーデンの食材・食文化を紹介するイベントを実施した。「血のプリン」「ブルーベリースープ」など実際の食材をスウェーデンならではの調理法で調理し、試食をしていただいた。（「展示会」の項参照）

日 時 : 平成29年7月9日(日) 14:00~15:30
場 所 : 西当別コミュニティセンター(石狩郡当別町)
参加者 : 15名
参加費 : 1,000円

(5) ザリガニパーティ

スウェーデンの夏の風物詩である、茹でザリガニを食べる会を今年も実施した。

日 時 : 平成29年8月6日(日) 12:00~14:00
場 所 : スウェーデン交流センター 中庭
参加者 : 32名(うち未就学児2名)
参加費 : 1,000円(未就学児は無料)

(6) スールストロミング試食会

世界一くさい食品とされる、スウェーデンの珍味の試食会を今年も実施した。

日 時 : 平成29年9月10日(日) 12:00~14:00
場 所 : スウェーデン交流センター 中庭
参加者 : 18名
参加費 : 1,000円

(7) 「ヴィルヘルム・ペッテション=ベリエル」

スウェーデンのクラシック作曲家紹介 レクチャーコンサート

スウェーデンの著名な音楽家、ヴィルヘルム・ペッテション=ベリエルの作品とその音楽性についてのレクチャーおよび楽曲の披露を行った。

日 時 : 平成29年9月13日(水) 19:00~20:30
場 所 : 札幌市男女共同参画センター 音楽室
講 師 : 朝倉 崇(北欧音楽研究家)、カーリン・ホルダー(ソプラノ)、
高松 要(ピアノ、SCF職員)
参加者 : 4名
参加費 : 1,000円

(8) SCFクリスマスフェア

期 間 : 平成29年11月26日(日)~12月25日(月)
場 所 : スウェーデン交流センター センターホール
入場者 : 期間中入場者 257名

① ルシア祭 平成29年12月10日(日)

スウェーデンの冬を代表するお祝い、ルシア祭を開催した。ルシアに欠かせない食品を紹介したほか、地元・当別の子供たちがルシアの歌を披露し、ルシア祭を祝った。

ルシア姫 ネット・ホンギストさん（北海道大学留学生）

出演者数（子供たち） 9名

来場者数 120名

*ジンジャークッキー・アイシング体験 36名参加（参加費100円）

② クリスマスマーケット

期 間 : 平成29年11月26日（日）～12月25日（月）

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

クリスマス用の飾り・スウェーデンの小物等を特設のコーナーを設けて展示販売を行った。

③ クリスマスクラフト講習会

*吹きガラス講習会

クリスマスに因んだキャンドルホルダーの制作体験会を行った

日 時 : 平成29年12月9日（土）

場 所 : スウェーデン交流センター ガラス工芸工房

参加者 : 3名

参加料 : 2,000円

*クリスマス木工芸講習会

クリスマスオーナメントの星形ランプの制作講習会を行った。

日 時 : 平成29年11月26日（日）

場 所 : スウェーデン交流センター 木工芸工房

参加者 : 2名

参加料 : 5,500円

(9) フィーカ

スウェーデンのさまざまな事柄について気軽におしゃべりできる場を提供する「フィーカ」を開催した。昨年も開催した内容を、担当職員の変更によりリニューアルして再開。季節にあわせてスウェーデンの文化や習慣などを話題提供した。平成30年度も継続して開催する。

日 時 : 平成30年2月17日（土）より毎月第3土曜日に開催

14:00～15:30

①2月17日 16名参加

②3月17日 11名参加

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール2F

参加費 : 500円

3) 展示会

(1) 「ダーラヘスト SCFコレクション」展

スウェーデンの工芸品として人気の高い「ダーラヘスト」のアンティークレプリカなど、スウェーデン交流センター所蔵の希少な作品を紹介した。（昨年度より引き続き展示）

日 時 : 平成29年1月21日(土)～5月29日(日)
場 所 : スウェーデン交流センター センターホール
来館者 : 1,343名

(2)「ポスク」展

キリスト教に根付いた文化であり、春の訪れのお祝いとしてスウェーデンの人々に親しまれている「ポスク(イースター)」の文化とその楽しみ方を紹介した。ポスクで飾るカラフルな羽や卵を中心とした装飾品や、ポスクが登場する文学等を紹介した。

日 時 : 平成29年4月9日(日)～4月16日(日)
場 所 : スウェーデン交流センター センターホール
来館者 : 54名

(3)「スウェーデン児童文学」パネル展

アストリッド・リンドグレンの名作「長くつしたのピッピ」生誕70周年(2015年)の一環でスウェーデン大使館が作成した、児童文学紹介のパネルを展示した。

館内ではSCF図書コーナーに蔵書のピッピをはじめとしたリンドグレン作品、および他の作家による作品の日本語版や英語・スウェーデン語版の閲覧コーナーも用意し、その魅力に触れていただいた。

日 時 : 平成29年6月3日(土)～6月26日(月)
場 所 : スウェーデン交流センター センターホール
来館者 : 5,554名(夏至祭来場者を含む)

※当初「催事・イベント」として計画していた事業を「展示会」として実施

(4)「スウェーデン食文化紹介」パネル展

日本ではまだ一般的でないスウェーデンの食材・食文化を紹介した。日瑞間のさまざまな食材の消費量の違いや、スウェーデンの独特な食品やその文化的背景等を写真と文字で紹介したほか、スウェーデンで人気のあるチューブ入り魚卵ペーストやリコリスキャンディーなど実際のパッケージの展示や一部実食も用意し、好評を得た。

日 時 : 平成29年7月1日(土)～下期10月23日(月)
場 所 : スウェーデン交流センター センターホール
来館者 : 1,999名

(5)地域紹介シリーズ6「レクサンド」展

スウェーデン中部ダーラナ地方の小都市、レクサンドを特集した。SCFの地元・当別町との姉妹都市提携が30周年を迎え、期間中に来日した同市からの訪問団メンバーから「ぜひ他の企業も紹介してほしい」とリクエストが出るなど、さまざまな感想を得た。

日 時 : 平成29年10月25日(水)～11月23日(月)
場 所 : スウェーデン交流センター センターホール
来館者 : 446名

(6) 「ダーラヘスト SCFコレクション」展

スウェーデン交流センター所蔵のコレクションを紹介した。(冬期間の常設展示)

日 時 : 平成30年2月25日(日)～5月14日(月)終了予定

*平成30年度へ継続して展示中

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール

来館者 : 382名(3月31日現在)

(7) 日本・スウェーデン外交関係樹立150年記念

エストヨータテキスティール作品展「フィーラ・オーシュティエデル(四季)」

日 時 : 平成30年3月24日(土)～5月7日(月)

*平成30年度へ継続して展示中

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール2F

来館者 : 247名(3月31日現在)

*オープニングイベント

日 時 : 平成30年3月24日(土) 10:30～12:00

場 所 : スウェーデン交流センター センターホール2F

参加者 : 25名

スウェーデン中南部・エステルヨーランド県のテキスタイル作家グループの作品展を開催した。オープニングイベントでは、「150年」を記念して視察のため来日していた同県のニルソン知事がオープニングを宣言し、グループを代表して来日した3名のアーティストがグループの紹介を行った。

4) 人的交流支援

(1) レクサンド高校木工科生徒の職業実習受入コーディネート

旭川・音威子府・当別のインターンシップで来道するレクサンド高校生の受け入れに関する諸連絡および調整を行った。今年度は「当別・レクサンド姉妹都市提携30周年記念行事」にレクサンド高校生徒およびマルコ・サンデルン教頭も来日して参加することとなったため、当別町内(SCF木材工芸工房)での生徒たちの研修は行わないこととなった。

実際の受け入れは10月中に終了し、研修した生徒・視察を行った教師ともに充実した内容だったと評価を得た。研修先からも熱心に取り組んでいたと報告があったが、高校生の研修に不慣れであることもあり、研修内容や方法について今後さらに調整をお願いしたいとの申し出があった。来年度についても研修のアレンジに対するリクエストが来ているため、各所と連絡を密にして取り組んでいく。

(2) ダーラナシンフォニエッタ日本公演に向けた支援

ダーラナ地方での音楽コンサートや音楽を通じた教育プログラムを提供する団体「ミュージック・イ・ダーラナ」内の管弦楽団「ダーラナシンフォニエッタ」の、来年度日本国内でコンサートを開催したいという要請により、札幌やそれ以外の地域での実現可能性を探るべ

く、連絡調整等サポートを行った。また、本件で来日した職員2名の札幌・東京での視察に同行し、通訳等のサポートを行った。来年度もサポートを継続していく。

5) 講習会、体験教室等

(1) 吹きガラス制作体験

(2) 木工教室

上記の事業を実施した。「工房事業」参照。

6) アーティスト・イン・レジデンス 2017 (AiR2017)

スウェーデン・アルヴェスタで木工旋盤作家として活動するウルフ・ヤンソン氏を招聘し、滞在型制作およびワークショップ、木工旋盤での制作デモンストレーション、外部団体施設への出張を含む工芸セミナー、作品展示会を開催した。

各セミナーでは制作におけるプロセスや作家自身の哲学、インスピレーションなどについて語った。参加者の背景（学生、工芸家、等）にあわせてトピックのボリュームを調整し、制作デモンストレーションも行うなど、参加者の興味によりよく沿うようにした。作品展では、SCF工房で制作した新作のほか、スウェーデンで制作し持参してもらった作品も展示し、作家の芸術世界およびスウェーデンでの工芸について広く紹介することができた。

日 時 : 平成29年9月27日(水)～11月1日(水) 5週間

招聘作家: ウルフ・ヤンソン氏(木工旋盤作家、スウェーデン・アルヴェスタ出身)

①AiR2017 セミナー

日 時 : 平成29年10月6日(金) 10:30～12:00

会 場 : 東海大学 札幌キャンパス(札幌市南区)

参加者 : 20名(国際文化学部 石塚耕一教授)

②AiR2017 セミナー

日 時 : 平成29年10月9日(月・祝) 14:00～16:30

会 場 : スウェーデン交流センター 木材工芸工房

参加者 : 北海道芸術デザイン専門学校生 16名

③AiR2017 セミナー

日 時 : 平成29年10月17日(火) 18:30～20:30

会 場 : 旭川市工芸センター(旭川市)

参加者 : 木工に関わる職業・作家の方々 87名

④AiR2017 展示会「ウルフ・ヤンソン作品展」

日 時 : 平成29年10月22日(日)～11月13日(月)

会 場 : スウェーデン交流センター センターホール2F

作品数 : 44点

⑤AiR2017 「ウルフ・ヤンソン作品展」 オープニングセミナー

日 時 : 平成29年10月22日(日) 14:00~16:00

会 場 : スウェーデン交流センター センターホール2F

参加者 : 23名

⑥AiR2017 セミナー

日 時 : 平成29年10月25日(水) 15:30~17:00

会 場 : 北海道当別高等学校(石狩郡当別町)

参加者 : 8名(美術部生徒、教員)

7) その他(後援・協賛事業)

① 当別中学校 職業体験学習 受け入れ協力

日 時 : 平成29年7月19日(水)、7月20日(木)

内 容 : 当別中学校2学年の職業体験学習に協力し、生徒2名の受け入れを行った。主に交流事業の業務内容を体験してもらうため、展示物の資料集めや実際のレイアウトなどを職員が指導した。

2. 広報事業(継続事業2)

スウェーデン交流センターで行う様々な催し・イベントの情報や、スウェーデンの文化・社会の紹介等を広報誌「ビョルク」やパンフレット、ホームページ、フェイスブックで行った。

1) 広報誌「ビョルク」の発行

「ビョルク」134号 4月 1日発行 2,500部

「ビョルク」135号 7月10日発行 2,500部

「ビョルク」136号 10月1日発行 2,500部

「ビョルク」137号 1月 1日発行 2,500部

2) スウェーデン交流センターのホームページ・フェイスブックの随時更新

① フェイスブックを利用しタイムリーな情報の掲載・イベントの告知・報告を行った。

② ホームページを整備し、イベント情報・活動報告等を随時公開した。

3) マスメディア・取材対応、サポート

(1) テレビ放送

① **T v h** 「旅コミ北海道～じゃらん de GO! 初夏のアラサツ日帰りドライブ」

平成29年6月17日(土) 18時30分~放送

札幌近郊のドライブスポットの一つにスウェーデン交流センターが紹介され、センターホールのほか、木工房での制作体験が紹介された。(島田、高松)

② **H B C** 「今日ドキッ!」

平成30年2月5日(月) 16時頃~放送

さっぽろ雪まつりの初日にSCFのブースが紹介された。また、札幌在住のスウェーデン留学生 キムさん、ヒュウゴさんがストックホルム大聖堂の大雪像とシナモンロールの紹介を行った。

③NHK「ひるブラ ～北海道当別町～」生放送

平成30年2月26日(月)12時20分～生放送

NHK全国放送の昼の情報番組【ひるブラ】の北海道紹介第1日目として紹介された。

リポーター・照英氏、NHK増子有人アナウンサーにより、SCFの活動やスウェーデンヒルズについて紹介された。フィーカ(高松、パール、キム、ヒュウゴさん)、ガラス工房(甲斐、田澤)の紹介、スルーストロミングの試食(照英氏ほかスタッフ)等スウェーデンの食文化の紹介、スウェーデンヒルズの紹介(辻野道子氏宅)等

④HTB「イチオシ!モーニング」世界の朝ごはんいただきますコーナー

平成30年3月27日(火)7時30分～放送

「イチオシ!モーニング」内の企画「世界の朝ごはん いただきます」でスウェーデンの朝食について紹介。SCFスタッフのパール・ショーベリが出演し、自宅でスウェーデンの朝ごはんは、どんなものか紹介した。スウェーデンのミートボール「シェットブルー」やオープンサンドを番組内で作り紹介した。

(2) ラジオ放送

①HBCラジオ「カーナビラジオ午後一番」

平成30年2月5日(月)午後～

さっぽろ雪まつり初日にHBCラジオ「カーナビラジオ午後一番」で、SCFスタッフのパール・ショーベリがSCFのブースの展示品や販売品について紹介した。

(3) 新聞報道

①北海道新聞(石狩版) 平成30年3月8日(木)朝刊

3月12日から開催の「エストヨータテキスティール作品展」について、来日したテキスタイル作家やその作品等、作品展の紹介記事が掲載された。

②ダーゲンスニユヘテル(スウェーデンの大手新聞) 平成30年3月29日(木)掲載

ニユヘテル ヤパンスカ スウェーデンヒルズ
Nyheter 「Japanska Sweden Hills」

ダーゲンスニユヘテル紙の記者がスウェーデンヒルズを訪問し、ヒルズの住民とスウェーデン交流センターを取材した。住民にはヒルズにきた切欠やヒルズの成り立ち。交流センターでは、設立の経緯や活動内容について取材した。

4) 資料の整備

図書コーナーを整備し、来館者への貸出や閲覧スペースの提供を行った。

図書コーナー充実のため、次の18冊の書籍を購入、個人から17冊ご寄贈頂いた。

A. 購入書籍 18冊

イ. 一般書 2冊

「3日でまわる北欧inストックホルム」 著者 森百合子

「カル・レーション スウェーデンの暮らしと愛の情景」 著者 荒屋敷透

ロ. 児童書・絵本 16冊

「フイントゥスの誕生日」「フイントゥスの魚釣り」 著者 スヴェン・ノードクヴィスト

「月の塔」 著者 パール・グスタフソン

「ミステリーホテルの怪」「ダイヤモンドのなぞ」「なぞの映画館」 マッティン・ビードマルク作
「ぼくのかわいいおさるさん」 ウルフ・ニルソン作
「とこやさんにいったニッセ」 レーナ・ランドストローム作
「トベのあたらしい耳」 トーベ・クルベリ作
「ゆきのひのポンテ」 エバア・エリクソン作
「フローのになわ」 クリステイーナ・ディグマン作
「げんきになるって！ しがびょういんにいったとき」 アン・フオッシュリンド作
「ハスぼうやの国」 バルブロ・リンドグレン作
「だれのズボン？」「だれのおばあちゃん？」 スティーナ・ヴィルセン作
「北のはてのイベク」 ピーパルク・フロイゲン作
「北欧スウェーデン式 自分を大切に生きる生き方」 マッツ・ビルマーク、
スーサン・ビルマーク 文響社
「北欧スウェーデンの旅手帖」 おさだゆかりアノニマ・スタジオ
「スウェーデン森に遊び街を歩く」 Sanna ^{しよしかんかんぼう} 書肆侃侃房

B. ご寄贈頂いた書籍 17冊

「女も男も生きやすい国、スウェーデン」 三瓶恵子 岩波書店
「スウェーデンの小学校社会科の教科書を読む」 ヨーラン・スパネリッド 新評論
「ヨーロッパの中の日本」 森元誠二 新評論
「かわいい北欧」 ナシエ イースト・プレス
「みんなの危機管理」 須永昌博 ^{かいぞうしゃ} 海象社
「ケアリング NO.19」 株式会社キャラミ
「大人が味わうスウェーデン児童文学」 菱木晃子 NHK 出版
「みんなの教育」 川崎一彦 他 ミツイパブリッシング
その他北欧関連書籍 9冊

3. 工房事業（継続事業3）

1) 制作体験教室

(1) 吹きガラス制作体験教室

宙吹きによるオリジナルのガラス作品制作体験。

日 時 : 毎月第2・4土曜日（原則／予約制）

場 所 : スウェーデン交流センター ガラス工芸工房

講 師 : S C F ガラス工房スタッフ

参加費 : 2,000 円（送料は参加者負担にて別途）

参加者 : のべ31名

(2) 木工教室

家具や小物などの制作講習会。テーマは受講者と個別に相談して決定する。

日 時 : 毎月第2・4日曜日(原則/予約制)

場 所 : スウェーデン交流センター 木材工芸工房

講 師 : 島田晶夫氏(デザインスタジオシマダ/スウェーデン木工マイスター)

参加者 : のべ62名

2) ガラス作品展

ガラス工芸工房の職員による外部での作品展を実施した。

①「甲斐裕士 作品展」※jaz flower shop とのコラボレーション

期 間 : 平成29年6月23日(金)~7月7日(金)

会 場 : jaz flower shop(札幌市中央区)

出展作家 : 甲斐裕士(SCF職員)

入場料 : 無料

②「甲斐裕士 ガラス展」

期 間 : 平成29年7月3日(月)~7月15日(土)

会 場 : 手風琴(札幌市北区)

出展作家 : 甲斐裕士(SCF職員)

入場料 : 無料

4. 販売事業

1) ガラス工房、木工房の作品の販売

当工房で制作したガラス作品、木工作品の展示販売を行った。2014年度より当別町の「ふるさと納税」の記念品のひとつに取り上げられているガラス作品については、今年度から記念品を3作品に増やして、増販を期待したが、予算120口に対して70口と予算未達であった。(△250,000円)

また、竣工祝い品販売については、517口の予算に対して、実績463口と54口減、(△756,000円)と大幅未達であった。

委託販売等の増販(Jaz Flower shop スポット販売112千円増、新規の当別道の駅25千円)やさっぽろ雪まつりのブース販売158千円で若干カバーしたが700千円減となった。

2) 輸入雑貨の販売

スウェーデンの民芸品であるダーラヘスト、その他スウェーデン雑貨の輸入販売を行った。雑貨についても、竣工記念品販売は数量的に予算未達(514⇒464 △50)であったが、2月からの製品値上げにより、売上高的には予算を確保した。

また、札幌雪祭りでのスポット販売(1500千円)、新規委託先の当別道の駅「北欧の風」の売上800,000円や一般販売の増販により、大きく増販となった。(4,222千円増)

平成29年度 販売実績

内 容	前年実績	今期予算	実 績	予算対比
ガラス作品収入				
関連売上	7,651,370	8,859,000	8,026,995	-932,005
一般売上	1,270,342	915,000	780,379	-134,621
委託販売	756,575	737,000	998,792	261,792
ガラス作品収入 計	9,678,287	10,511,000	9,806,166	-704,834
ガラス作品 工房分（継続事業）	7,258,715	7,883,000	7,354,625	-528,375
販売事業分	2,419,572	2,628,000	2,451,541	-176,459
雑貨・その他収入				
関連売上	7,429,156	8,355,000	9,778,721	1,423,721
一般売上	1,543,571	400,000	2,270,313	1,870,313
委託販売	79,748	80,000	1,008,796	928,796
雑貨・その他収入 計	8,972,727	8,835,000	13,057,830	4,222,830
販売事業売上合計	11,392,299	11,463,000	15,507,371	4,044,371

* 販売事業売上合計は、「雑貨・その他収入」にガラス作品収入の内「販売事業分」を加えたもの。

以 上